



阿賀野市立京ヶ瀬中学校

〒959-2123
阿賀野市姥ヶ橋 739
Tel. 0250-67-2004
2024-7号
令和6年7月11日発行

～ <http://kyogase-jhs.agano.ed.jp/> ～

京ヶ瀬中学校



京ヶ瀬中学校の伝統を創る

6月28日(金)に「第1回地域と学校の連携を推進する会」を実施しました。地域・PTA代表の6名の皆様から、京ヶ瀬中学校をより良くするためのアドバイスをいただきました。今年度も第1回の会議は生徒会本部の生徒11名と一緒に、「京ヶ瀬中学校の目指すべき姿」について意見交流をしました。「『日本一〇〇な京中』と言える伝統を創る」「トイレがきれいな学校を目指す」などの意見が出されました。実現に向け、今後、生徒委員会でも話題にしたいと思います。



<京中の良いところ>

- ・明るい
- ・学年の壁がない
- ・あいさつがいい
- ・人懐こい

<京中の課題>

- ・受け身の生徒が多い
- ・ケジメやメリハリがつけられない
- ・自分からあいさつする人が少ない、声小さい
- ・掃除ができていない
- ・自分の考えを言えない
- ・自転車の乗り方が良くない

<改善策>

- ・3年生が責任感をもち、手本になる
- ・縦のつながりを強化する
- ・地域や他学年と関わる企画を増やす
- ・リーダー以外も積極的に動く

<目指す姿>

- ・自分で考え、行動して解決できる集団
- ・あいさつが飛び交う学校
- ・トイレがきれいな学校
- ・行事や活動がしやすい学校
- ・団結力があり、行事で盛り上がる学校
- ・日本一有名になる
- ・「当たり前」が当たり前でできる学校
- ・平和(他学年とかかわれる)
- ・一つでも「〇〇の京中」という伝統を創る(あいさつ、ボランティア等)

SOS の出し方に関する授業

6月28日(金)1限の道徳授業で、「SOSの出し方に関する授業」を実施しました。困ったことや悩み事を一人で抱え込まず、誰かに相談できるようにすることを目的として、昨年度から夏季休業の前に「新潟県自殺予防教育プログラム」を用いた授業を全学年で実施しています。今年度、1学年は「マインド・プロファイリング」を活用しました。



<授業の感想(ワークシートの記述より一部紹介)>

- ・人それぞれ色々な気持ちがあることを改めて知った。周りの意見をこれからも聞いて、否定せずにいきたいと思う。(1年)
- ・嫌なことがあった時に、友達や親に相談して自分の気持ちを整理したいと思った。人に嫌なことをしないことを心掛けていきたい。(1年)
- ・動画を見て、大切なことは、「否定しない」「優しい言葉をかける」「一生懸命に話を聞く」ことだと分かった。傾聴することも大切だと分かった。(2年)
- ・傾聴や繰り返しの法則などを使って、相手にとって良い言葉をかける。一緒に解決できるように話しかけたり、先生に相談したりして解決策を考える。(2年)
- ・言葉にしないと解決しないことがあると思う。言葉にすることで悩みの原因が分かたりもすると思う。(3年)
- ・相談することで心が軽くなるなら、誰にでも相談できる力を身に付けた方がいいと思った。家族や友達に相談しようかなと思った。(3年)